

支出項目	要請・陳情活動費
------	----------

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番 号	私 証明 書 番 号
1	10月9日	10/24陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動 ・交通費及び宿泊費 (坂本崇ほか2名)	フラワー観光株式会社	148,500	1	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
10 月 小 計				148,500		

支 出 項 目	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	領 収 書 番 号	1
---------	-----------------	-----------	---

領 収 書

弘前市議会 奏望会 様

令和 6 年 10 月 9 日

120366

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円

但し旅行代金(JR.宿泊代)として。3名分。

上記の金額正に領収致しました



税込金額	¥
消費税額(10%)	¥
消費税額(8%)	¥
御入金内訳	
現金	¥
小切手	¥
振込	¥
	¥

登録番号: T3-4200-0101-123456789

*** フラワー観光株式会社 ***

<http://www.flower.travel.co.jp>

☒ 弘前店 ☎036-8053
☐ 五所川原店 ☎037-0004
☐ 青森店 ☎038-0011

弘前市和泉2-2-2
TEL (0172) 2122

五所川原市大字唐草中町1-1
TEL (0173) 2122

青森市篠田3-22-23 コーポわかば2号室
TEL (017)-775-2735

支 出 目 的 ・ 内 容

10/24陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動・交通費及び宿泊費(坂本崇ほか2名)

備 考

10/23 新青森駅～東京駅

10/24 東京駅～新青森駅

10/23東京都内宿泊

請求書

令和6年10月8日

登録番号 T3420001010779

青森県知事登録旅行業第2-139号

弘前市議会 奏望会

様



弘前店 弘前市和泉2丁目1-1

電話 0172-26-2112

FAX 0172-26-0808

代表取締役 藤田 智彦

担当者

御旅行先 東京

日程：出発 2024 年 10 月 23 日 (水)

帰省 2024 年 10 月 24 日 (木)

御請求額 148,500 円

種別	人員	単価	金額	備考
10% JTBパック	3	49,000	147,000	
取扱料金	3	500	1,500	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
8% ※			0	
※			0	
※			0	
※			0	
対象外			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
※は軽減税率対象		合計	¥ 148,500	
		内金	0	
振込手数料はお客様負担となります		残金	¥ 148,500	

10%対象 148,500 円 内消費税額 13,500 円
8%対象 0 円 内消費税額 0 円

振込先



口座名義



支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支払 証明書 番 号
1	3月25日	会派だより印刷代 (3月7日発行、64,700枚)	有限会社アサヒ印刷	498,190	2	
2	3月28日	会派だより配布料	ワイエス株式会社ミッド事業部	765,603	3	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
3 月 小 計				1,263,793		

別記様式第1号（第6条関係）

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	2
---------	-----	-------	---

領 収 証

№ 008892

弘前市議会会派希望会 様

令和 7 年 3 月 25 日

領収金額	¥ 498,190
標準消費税10% (税抜) 452,900	(消費税) 45,290
軽減消費税 8% (税抜)	(消費税)



入金内訳	現金	✓
	小切手	(/)
	手形	(/)
	相殺	

但 会派だより代り
上記金額正に領収いたしました。

有限会社 アサヒ印刷

代表取締役 漆 澤 昭 昭

〒036-8246 青森県弘前市青森町376
TEL (0172) 87-1118 FAX (0172) 87-5109



登録番号
T5-4200-0201-2772

支出目的・内容	会派だより 印刷代
備 考	

お客様コードNo0184

弘前市議会会派奏望会 様

請 求 書

伝票No. 249

令和 7 年 3 月 7 日



有限会社アサヒ

代表取締役 漆

〒036-8246 青森県弘前市青樹町3-6 TE

[登録番号 T5 4200 0201 2772]

取引銀行

担当者

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
会派だより 10%	64,700	枚	7.00	452,900	★
課税対象額	452,900 (消費税合計	45,290)	合 計	498,190	
摘 要					

お客様コードNo0184

弘前市議会会派奏望会 様

納 品 書

伝票No. 249

令和 7 年 3 月 7 日



有限会社アサヒ

代表取締役 漆

〒036-8246 青森県弘前市青樹町3-6 TE

[登録番号 T5 4200 0201 2772]

取引銀行

担当者

毎度ありがとうございます。下記の通り納品致しますので御査収下さい。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
会派だより 10%	64,700	枚	7.00	452,900	★
課税対象額	452,900 (消費税合計	45,290)	合 計	498,190	
摘 要					

弘前市議会

奏望会

— そうぼうかい —

会派だより
2025・春



七飯町歴史館「リンゴ・ブドウ見本園」にて

今年、青森県はりんごを植栽してから
150周年を迎えます。

りんご生産量日本一を誇る当市にとって、
この記念すべき節目の年に、そのルーツを
学び、次の150年に資することを目的に、私
たち奏望会は青森りんごの開祖で旧弘前藩
士の菊池楯衛が、本県りんご黎明期にりん
ごの栽培方法等を学んだといわれる北海道
七飯町を訪問し、その足跡と我が国の近代
農業の歴史について調査を行いました。

特
集

青森りんご植栽150周年！

本県りんごの開祖 きくち たてえ 菊池楯衛の足跡を訪ねて

北海道七飯町視察

1月15日(水)

今年青森県にりんごが植栽されてから150周年を迎えますが、そのはじまりや、日本における西洋りんごの歴史は意外に知られていません。

その調査のために訪問した七飯町で私たちは、明治期の激動の中で、地域の危機を乗り越えようと奮闘した先人の「進取の気性」と「じょっぱり精神」の物語に出会いました。

日本における近代農業発祥の地・七重

日本の近代農業の黎明は、安政2年(1855年)の箱館開港から始まります。この時、七重(現在の七飯)は外国人の遊歩地区に指定され、外国船に食糧を供給するため、いち早く西洋農法が取り入れられました。

明治2年(1869年)にはプロシア(現ドイツ)人、ラインハルト・ガルトネルが時の蝦夷政権(榎本武揚軍)と契約を結び、七重の300万坪という広大な土地を借り受け、日本における洋式農法を基盤とした近代農業を始めて行いました。

ガルトネルは、日本にはなかった洋犁や碎土機、草刈機などの農機具にはじまり、小麦や大麦、燕麦、なたね、キャベツなどの種、りんごやなし、ぶどう、さくらんぼなどの果樹をプロシアから持ち込みました。



三上秋雄 議員

箱館戦争後の明治3年(1870年)、明治新政府は、ガルトネルの農場を足がかりに、北海道、そして日本が列強国の植民地となることを恐れて、多額の賠償金を支払い、ガルトネルを帰国させます。そして、彼から取り戻した土地を七重開墾場とし、開拓使によって本格的に開墾します。この開墾場は通称「七重

官園」と呼ばれ、ガルトネルの植栽した、りんご68本も引き継がれました。明治5年～9年にかけては、開拓使がアメリカ及びカナダから取り寄せた42万本の果樹苗木のうち、りんごの苗木は75種84,239本といわれており、その中には、日本の



基幹品種「紅魁」「祝」「紅玉」「国光」が含まれていました。

官園は農事試験場の冠称で名称は七重開墾場、七重農業試験場、七重勸業課試験場と変わりながら、明治27年(1894年)まで続きます。

この農場で学んだ実習生たちは後に北海道開拓に大きな足跡を残すことになります。

菊池楯衛 七重での足跡

菊池楯衛は弘化3年(1846年)に弘前藩士の城大工の家生まれます。明治2年(1869年)23歳の時に藩の山林取締役兼樹芸係となり、杉と漆の植栽を指導する仕事についています。



田中 元議員

廃藩置県後の明治7年(1874年)11月から藩時代の経験を買われ、青森県庁の租税課山林係で地租算定の任に着きます。明治10年(1877年)5月、楯衛は青森県庁から函館の北海道開拓へ地産算定のプロとして派遣されます。この時に派遣先の函館の目と鼻の先にあった七重官園のこと

を知った彼は、2か月後、職を辞し、七重勸業場へ農業研修生として飛び込みます。開拓使が独自に集めた洋種作物が豊富にあり、アメリカから派遣されていた農業指導者がその栽培方法を指導していた七重官園には、楯衛にそう思い切らせるだけの魅力があったのだと思われます。楯衛はここで約5か月間研修することになりますが、この時アメリカ人指導者からアメリカ流の揚げ接ぎ「簡便接木法」を教わったことが、後に津軽地方が日本一のりんご産地になる上で重要な役割を果たすことになります。

MEMO①

青森りんごの開祖・菊池 楯衛(1846～1918)

りんご栽培の最初の苗木配布者・試験者で、「青森りんごの開祖」といわれている。

旧藩士時代から果樹などの栽培に熱心で、経験豊富であったことから、西洋りんごの将来性を見抜き、青森県がりんご栽培に適することを確かめ、りんごの栽培技術を広めた。

青森県が日本におけるりんご主産地になる基礎をつくった人物。



MEMO②

青森りんごの初植栽・初結実

明治8年(1875年)の春、青森県に初めて明治政府から西洋りんごの苗木が届いた。数はわずかに3本で、この時、県庁租税課にいた菊池楯衛が県庁構内に植えている。同年秋と翌9年の春に、第二便、第三便として200本を超える数のりんごが届く。これは主に弘前地方の旧士族や一部の篤農家に無償で配布された。(配ったのは菊池楯衛)

明治10年(1877年)、弘前市相良町(現在府町)養蚕家・山野茂樹が屋敷の畑(現弘前大学医学部)に試植したものにりんごの実が3個なったのが、初めての結実。品種は「紅魁」だった。(医学部前庭に初なり記念碑がある)



七重官園でアメリカ人指導者からアメリカのりんごの産地は青森と緯度が同じくらいの寒冷地であることを聞き、その可能性に目を付けた楯衛は、研修を終え、弘前に戻った後さっそく農園(後週園)を開き、七重から持ち帰ったりんご等を植えました。

当時、新しくりんご栽培に挑戦しようとする者の最大の悩みは、りんごを植えるようにもその苗がなく、そこで楯衛が七重官園で習得した接木の技術が生かされました。楯衛はその後、接木伝習所を開設し希望者に接木法を指導して行きます。後に“青森りんご中興の祖”といわれた外崎嘉七(1859-1924)も同所で学んでいます。この取り組みにより、津軽で生産されたりんごの苗は明治28年までに200万本に達したといわれています。



菊池楯衛が描いたビジョン

今回、七重官園と菊池楯衛のつながりを説明してくださった、七飯町歴史館の山田央学芸員は、「弘前がりんごの産地として発展した理由の一つは、菊池楯衛が七重官園のアメリカ人指導者から、りんごの栽培技術だけではなく、りんごを産業として成り立たせるためのノウハウも学んだことです。

例えば、弘前は城下町ですので、昔から刀鍛冶がいたと思いますが、明治以降、その技術をりんごの剪定鋏等の農具づくりに応用し、りんご生産の発展を支える仕組みもつくるなど、りんごを産業ととらえ、そのグランドビジョンをしっかりと描いていたのだと思います。それは七重から弘前に帰ってすぐに化育社を立ち上げたことにも表れていると思います」

MEMO③

弘前城にソメイヨシノ1,000本を植えた菊池楯衛

菊池楯衛は、大正2年(1913年)までに、37回遠出をしている。その目的は、各地の農業視察など様々だが、その遠出の帰りに新たな作物の苗を持ち帰らなかったことはただの一度もなかった。明治16年(1883年)の時点で、1,000種類近い植物を集め栽培していた。これだけの種類の植物を揃えるには、草木の総本山である染井村とつながりがなければならない。おそらく、ここで楯衛はソメイヨシノと出会ったと思われる。楯衛が藩政時代に弘前城の館番をしていた内山覚弥(のちに市議)から城内が荒れ果てている話を聞いて、二の丸と西の郭に1,000本のソメイヨシノを植えたのは明治15年(1882年)のこと。費用は自前だったといわれている。現在、二の丸東内門付近にある園内最古のソメイヨシノはこの時に植えられたものである。



と語っていました。

七重から戻った明治10年に楯衛は「化育社」という名の農業勉強会を結成しています。メンバーは10数名で、すべて士族でした。楯衛がりんご栽培を盛んに奨励したのは、没落士族を救いたいという思いがあったからだといわれています。弘前藩は廃藩置県とともに、土地を士族に与え士族帰農策をとりま

したが、士族たちの中にはそれをうまく活用できずに、せっかくの土地を手放して城下へ戻ってしまう者が少なくなく、楯衛はそれを憂っていたそうです。楯衛が仲間にりんごづくりを



盛んに奨励したのは、米や野菜づくりでは、元からの生産者たちに勝てるはずはないが、新しい作物のりんごなら勝負ができるのではと考えてのことだったといえます。化育社をつくったのも彼らを応援したいとの思いからでした。

化育社は明治17年(1884年)に「中津軽郡農談会」と名称を改めて、りんごを中心とした品評会を催すなど、この地方の農事の中心的な組織に成長。明治23年(1890年)には同会のメンバーである楠美冬次郎(1863-1934)等が『苹果要覧』というりんごの品種カタログを編集するなど、品質のいいりんごをつくるための技術研究とPRの甲斐あって津軽のりんごの評価は日増しに高まり、明治20年代の半ばにはついに東京への販売ルートを開



MEMO④

道南・函館との明治時代の交流あれこれ

近年、函館をはじめとする北海道の道南地域と弘前の交流事業が盛んに行われているが、菊池楯衛が七重で近代農業を学んだ明治10年前後には、弘前から多くの人が函館に渡り、後の弘前にとって重要なことを学んでいる。洋風建築の父・堀江佐吉は明治12年(1879年)から1年間、開拓の仕事の傍ら、函館で洋風建築を学び、弘前に帰ってから多くの洋館を手がけた。また、明治15年(1882年)の函館のミッションスクール遺愛女学校の開校時の入学生は全員弘前出身の女子で、彼女たちの多くは卒業後、明治19(1886年)に弘前に開設された来徳女学校(聖愛の前身)で教壇に立ち、青森県的女子教育の礎を築いた。

くことに成功しました。その後次第にりんごは商品価値が認められ、鉄道の開通により東北から北海道、関東、関西まで販路を広げます。

明治時代後期には、菊池楯衛からバトンを受け取った外崎嘉七が台頭、りんごの栽培方法も画期的な進歩をとげていきます。

明治30年代には、様々な病害虫にあい打撃を受けますが、有袋栽培やボルドー液などの薬剤散布が導入され、新しい剪定方法が研究されるなど栽培方法が著しく進歩しました。

昭和初期には我が国におけるりんご生産の7～8割が津軽地域を中心とした青森県産で占められるほどに成長、こうして楯衛が描いたビジョン、精神は、着実に後進に引き継がれ、りんごは地域を豊かにしていきました。

「宝の木」

青森りんご元年といわれる明治8年(1875年)当時の弘前は、廃藩後で武士階級の没落による人口減少が続ぎ、農業以外に主な産業もなく、経済的にも衰退の一途を辿っていました。

「りんご」はその苦しい時代に現れた「宝の木」でした。

青森県のりんご栽培の中興の祖といわれた外崎嘉七が晩年「青森県に何産物があると言うのか、りんごを宝の木だと思ったら、死に物狂いで取り組み」とよく口にしていたそうです。この言葉から自分たちの暮らす地域の窮状を「なんとかしなければ!」と奮い立った青森りんごのパイオニアたちの強い使命感、気概が伝わってきます。

りんごがこの地に植えられてから150年後の現在、我々

はりんごがもたらしてくれる様々な恩恵を享受していますが、その陰には、多くの先人の苦闘の歴史がありました。青森りんご植栽150周年の記念すべき今年は、先人の進取の気性とじよっぱり精神に学び、その恵みに感謝しながら市民みんなで祝う一年でありたいと思います。

人口減少、少子高齢化、自然災害など、社会変化や気候変動の激しいうねりの中で、今、私たちを取り巻く環境はかつてない厳しい現実と直面しています。自分たちの暮らす地域の未来を思った青森りんごのパイオニアたちのように、苦境の中にあっても使命感と気概を持って、次の時代につながり、新しい宝の木の「種」を巻き続けていかなければならないと、今回の調査を通じて思いを強くいたしました。



木下 敏七 七飯町議会議長(写真中央)と山田 央 七飯町歴史館学芸員(写真左から3人目)と

参考資料:

『ひろさき読解本』(公社)弘前観光コンベンション協会/『ここに人ありき第5巻・菊池楯衛』船水清(陸奥新報社)/『サクラを救え』平塚晶人(文芸春秋)/『弘前市政今昔物語』原子昭三(青森県教育出版)/七飯町歴史館HP/七飯大沼国際観光コンベンション協会HP「大沼っぶ」

弘前城天守石垣修理工事現場視察 (令和6年7月5日)

弘前城天守本丸東面の石垣積直し工事の進捗状況を視察いたしました。

今後の計画によると令和7年度のさくらまつり終了後から耐震補強のためのライナープレート設置と、それに伴う発掘調査が行われます。発掘により重要な遺構が出なかった場合は、令和8年10月頃からの天守引き戻しを想定しています。



樋の口浄水場施設工事現場視察 (令和6年7月5日)

施設の老朽化等による耐震性能の強化を目的に建設が進められている樋の口浄水場の工事の進捗状況を視察いたしました。

この工事により、水需要に応じた規模縮小による効率化や地震・水害・停電など災害時でも浄水機能を損なわない設備を備えた施設になるなどの効果が期待されており、令和8年度からの稼働を目指しています。



奏望会は、坂本 崇(代表)、三上秋雄、田中 元、齋藤 豪、工藤賢生の5名の議員からなる弘前市議会の会派です。
会派名の奏望会は、弘前市役所前庭のラッパを吹く少年像「希望の奏」から名付けたものです。

※右のQRコードを読み取ると、会派所属議員の一般質問を閲覧することができます。

(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です)



発行 弘前市議会 会派 奏望会

発行日 2025(令和7)年3月7日

発行者 坂本 崇

弘前市青山4丁目3-6

☎0172-34-8798

別記様式第1号（第6条関係）

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	3

領 収 証

No. 001778

会派 春望会 様

	百万			千			円
	¥	7	6	5	6	0	3

上記の金額正に領収致しました

☒ 現金 ☐ 小切手 ☐ 振込 ☐ 相殺

摘要 ☒ チラシ配布料として ☐ DM宅配料として ☐ クリッパー掲載料として

入	金	日
9	2	5
3	2	8



ワイエス株式会社 ミッド事業部

☐ 青 森 (営) 〒038-0042 青森市新城字福田57番地 TEL (017) 788-4471
☒ 弘 前 (営) 〒036-0233 平川市日沼富田19-7 TEL (0172) 57-5588
☐ 五所川原 (営) 〒038-3107 つがる市柏稻盛岡本94 TEL (0173) 26-7177

取 扱



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	会派だより 配布料
備 考	

請 求 書

〒 036-8062
弘前市青山4-3-6

24816-S0025 請求No. 0000161546 S
頁 1

会派 奏望会

様

ワイエス株式会社ミッド事業部

適格事業者登録番号 T9420001006771

〒 038-0042

青森市大字新城字福田57

TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409

担当者 弘前営業所

請求日 2025 年 03 月 23 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。(税率 10 %)

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥765,603	¥765,603

日付	品 名	数量/単位	単 価	金 額
3/11	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	1,195 枚	33.00	39,435
3/14	事業所を除く全戸/弘前市議会 会派奏望会 チラシA3 配布	51,894 枚	5.50	285,417
3/23	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	11,247 枚	33.00	371,151
			売上合計	696,003
			消費税等計	69,600
			今回請求額	765,603

取引銀行

※振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。

P-:0001
24816-S0025

様

ワイエス株式会社ミッド事業部
弘前営業所

弘前營業所

[illegible]

配布証明書

P-:0001
24816-S0025

クライアント名 : 会派 奏望会

様

配布品目 : チラシA3

摘要項目 :

住宅形態 : 事業所を除く全戸

配布日 : 2025年03月14日

ワイエス株式会社ミッド事業部
弘前営業所

配布枚数合計 51,894

エリアNo.	配布エリア	配布枚数
2A01	田町1, 2, 4, 5	265
2A02	田町3, 4・八幡町1~3	418
2A03	小人町・櫛宜町・田茂木町	264
2A04	亀甲町・若党町・馬喰町	259
2A05	栄町1~4	399
2A06	春日町・西城北1, 2	349
2A07	東城北1, 2	298
2A08	宮園1~3・東城北3	333
2A09	宮園4	244
2A10	宮園4, 5・向外瀬1	316
2A11	向外瀬2~5	295
2A12	青山1	339
2A13	青山2, 3	397
2A14	青山4, 5	372
2A15	宮川1~3	363
2A16	神田1, 4, 5	130
2A17	清野袋1~5・岩賀1~3	182
2A19	船水3丁目・八代町	179
2A	エリア合計	5,402
2B01	城西1, 2	372
2B02	城西3, 4	364
2B03	城西5	201
2B04	南城西1, 2	314
2B05	茜町1~3・樋の口1, 2・樋の口	264
2B06	鷹匠町・馬屋町・新町・南袋町	314
2B07	五十石町・袋町・新町	249
2B08	駒越町・西大工町・新町・河原町	292
2B09	和田町・平岡町	175
2B10	紺屋町	274
2B11	藤代1, 2	255
2B12	藤代3~5	235
2B13	浜の町西1, 2	337
2B14	浜の町西3・浜の町東3・石渡	365
2B15	浜の町東1, 2	285
2B16	浜の町東4, 5	347
2B17	浜の町北・外瀬1	372
2B18	石渡3, 4	342
2B19	石渡1, 2, 4, 5	241
2B20	土堂・元薬師堂	146
2B	エリア合計	5,744
2C01	南川端町・桶屋町・銅屋町・北川端	338
2C02	百石町・鉄砲町・鞘師町・元寺町	211
2C03	親方町・一番町・鍛冶町・下白銀町	92
2C04	相良町・本町・元大工町・覚仙町	278
2C05	森町・茂森町・塩分町・上白銀町	263
2C06	在府町・南塘町・北新寺町	339
2C07	新寺町・北新寺町・新寺町新割町	273
2C08	桔梗野1	233
2C09	桔梗野2	314
2C10	桔梗野3	232

エリアNo.	配布エリア	配布枚数
2C11	桔梗野4, 5・樹木5	256
2C12	桔梗野5・清富町	226
2C13	樹木1, 2・新寺町	237
2C14	樹木1, 3, 4, 5	258
2C15	西茂森町・茂森新町2 (寺院を除く)	250
2C16	茂森新町1・樹木2・新寺町	385
2C17	茂森新町4・樹木2, 3	248
2C18	茂森新町3・常盤坂2	160
2C19	常盤坂1, 3, 4	125
2C	エリア合計	4,718
2D01	寒沢町	427
2D02	西ヶ丘町	393
2D03	稔町	492
2D04	城南1	227
2D05	城南1, 2	296
2D06	城南3, 4	316
2D07	城南5・館野1, 2	185
2D08	山崎1, 2	198
2D09	旭ヶ丘1・緑ヶ丘1, 2	315
2D10	旭ヶ丘2・緑ヶ丘3	202
2D11	清水1~3丁目	115
2D12	大原1, 2・桜ヶ丘1	221
2D13	大原3・桜ヶ丘2	303
2D14	桜ヶ丘3, 5	314
2D15	桜ヶ丘4, 5	303
2D16	大開1, 2	176
2D17	大開3, 4・自由ヶ丘1	351
2D18	青樹町・金属町	277
2D19	小沢 (広野・沢田・御笠見)	207
2D21	山崎3~5・原ヶ平4・原ヶ平	180
2D22	自由ヶ丘2~5丁目	83
2D23	若葉1・2	254
2D	エリア合計	5,835
2E01	安原1, 2	352
2E02	安原3・松原東5	312
2E03	松原東3, 4	300
2E04	松原東2, 3・学園町	322
2E05	松原東1・学園町	335
2E06	中野1	325
2E07	中野2, 3	298
2E08	中野4, 5	322
2E09	松原西1, 2	305
2E10	松原西3・広野1	347
2E11	広野2	382
2E12	富士見台1, 2・原ヶ平1・山崎5	260
2E13	千年1	312
2E14	千年2・原ヶ平2~5	216
2E15	千年3, 4	306
2E16	狼森	143
2E17	原ヶ平 (山中)・大和沢	99

配布証明書

P-:0002
24816-S0025

クライアント名 : 会派 奏望会

様

配布品目 : チラシA3

摘要項目 :

住宅形態 : 事業所を除く全戸

配布日 : 2025年03月14日

ワイエス株式会社ミッド事業部
弘前営業所

エリアNo.	配布エリア	配布枚数
2E	エリア合計	4,936
2F01	富田1・住吉町・吉野町・山道町	304
2F02	富田2, 3	315
2F03	紙漣町・桜林町	351
2F04	富士見町	397
2F05	富士見町	492
2F06	文京町	339
2F07	富野町	523
2F08	御幸町	387
2F09	松森町	199
2F10	大富町	264
2F11	南大町1, 2	458
2F12	大町1丁目・表町	584
2F13	大町2, 3・椿町	359
2F14	駅前町・駅前1～3	328
2F15	土手町・坂本町・瓦ヶ町	109
2F16	品川町	283
2F	エリア合計	5,692
2G01	取上1	303
2G02	取上2, 3	394
2G03	取上3, 5	338
2G04	取上4, 5	318
2G05	川先1, 4・小比内4	322
2G06	川先2, 3	424
2G07	川先2・小比内3～5	425
2G08	小比内1～4	431
2G09	大清水1～3	393
2G10	清原1, 2	309
2G11	清原3, 4・大清水4	462
2G12	北園1, 2	325
2G13	三岳町・豊原1, 2	327
2G14	富田町	294
2G15	南富田町	331
2G16	清水森・堀越(宮本)	264
2G17	門外1, 2, 4	251
2G18	門外2, 3, 4	185
2G19	堀越	121
2G20	泉野1, 3, 4, 5	384
2G21	泉野1, 2, 5	498
2G22	川合	90
2G	エリア合計	7,189
2H01	城東中央1, 2	350
2H02	城東中央2～4	403
2H03	城東中央4, 5	301
2H04	城東1, 2	330
2H05	城東3	175
2H06	城東4	289
2H07	城東5	320
2H08	外崎1, 2, 4	307
2H09	高田1・外崎2, 3丁目	402

エリアNo.	配布エリア	配布枚数
2H10	外崎5・豊田1～3	153
2H11	高田2・末広2, 3・田園2	459
2H12	末広4, 5	308
2H13	田園1, 5	235
2H14	田園3, 4	310
2H15	高田5・新里	254
2H16	早稲田1, 4	282
2H17	早稲田2	294
2H18	早稲田3, 4・高田4丁目	553
2H19	福田1～3・福田	226
2H20	福村・早稲田4	242
2H21	境関・境関1丁目	219
2H22	新里(下樋田・中平岡)・福村	77
2H23	新里(東平岡・上樋田・中樋田)	168
2H	エリア合計	6,657
2I01	代官町・緑町・植田町・萱町	318
2I02	坂本町・徒町・徳田町・南横町	381
2I03	大浦町・蔵主町・東長町・長坂町	192
2I04	笹森町・山王町	308
2I05	和徳町・北横町・野田2	260
2I06	野田1・茶畑町	221
2I07	和徳町・東和徳町(1)	149
2I08	和徳町・東和徳町(2)	193
2I09	俵元1, 2・松ヶ枝2, 4, 5	339
2I10	松ヶ枝1, 3・稲田1, 2	365
2I11	城東北1, 2	333
2I12	城東北3, 4	234
2I13	高崎1, 2・和泉2	327
2I14	和泉1・堅田5・撫牛子(宮本)	310
2I15	堅田3, 4	341
2I16	堅田1, 2	199
2I17	撫牛子1・2・5丁目	296
2I18	撫牛子2～4	418
2I19	大久保	373
2I20	津賀野・百田	164
2I	エリア合計	5,721

P-:0001
24816-S0025

様

布 告 日 期 : 2025 年 03 月 23 日

配布枚数合計	11,247
--------	--------

[illegible]

御 見 積 書

令和7年2月5日

弘前市議会 会派 奏望会 御中

下記の通り御見積り致しましたので、何卒御用命の程御
願い申し上げます。



ワイエス株式会社 ミッド事業部

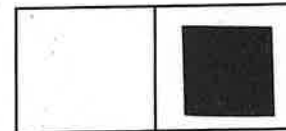
弘 前 営 業 所

〒036-0233 平川市日沼富田19番地の7

TEL: 0172-57-5588

FAX: 0172-57-5585

受 渡 場 所	当社 営業所に納品
配 布 形 態	通常配布/臨時配布
取 引 方 法	御打ち合わせの上
見積有効期限	次回御見積時まで
備 考	



税込合計金額	¥765,603	税 率 10%	消 費 税 ¥69,600
--------	----------	------------	------------------

項目	品 名	数 量	単位	単 価	金 額
1	チラシA3版 通常配布(事業所除く)	51,894	部	¥5.50	¥285,417
2	チラシA3版 臨時配布(事業所除く)	12,442	部	¥33.00	¥410,586
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
合 計					¥696,003

備 考	※臨時配布はご依頼確定より配布準備期間約2週間・配布期間は2週間。
	【搬入先】 〒036-0233 青森県平川市日沼富田19-7 ワイエス(株)ミッド事業部弘前営業所 TEL0172-57-5588